

**TOSHIBA**

# グリーン調達ガイドライン

(3版)



2017年1月1日

東芝ライフスタイル株式会社

## 目 次

1. はじめに
2. 東芝ライフスタイル株式会社の環境基本方針
3. 本ガイドラインの趣旨
4. 東芝ライフスタイル株式会社のグリーン調達基準
  4. 1 環境管理システム（EMS）の構築
  4. 2 調達品の含有化学物質の管理
  4. 3 東芝ライフスタイル株式会社環境関連物質リスト
5. 調達取引先様へのお願い事項
  5. 1 調達取引先様での環境保全の推進
  5. 2 環境負荷の小さい製品・部品・材料等の供給
  5. 3 調達品の環境品質確保のための契約の締結
  5. 4 各種調査への協力
    5. 4. 1 調達取引先様の環境保全活動の調査
    5. 4. 2 調達取引先様の化学物質管理体制に関する調査
    5. 4. 3 調査調達品の含有化学物質（群）に関する調査

添付資料 東芝ライフスタイル株式会社環境関連物質リスト

（別表1）ランクA：禁止物質（群）

（別表3）ランクB：管理物質（群）

## 1. はじめに

東芝ライフスタイル株式会社ではCSR(企業の社会的責任)活動を進めており、この重要な柱の一つとして環境経営を推進しています。東芝ライフスタイル株式会社の環境基本方針を定め、すべての事業プロセス・すべての製品において、“豊かな価値の創造”と“地球との共生”を一体とした環境配慮に取り組みます。

私たちが取り組むべき課題は多種多様ですが、製品を「つくる」段階から、お客様が「つかう」段階、そして役割を果たした後に再び資源として「いかす かえす」段階まで、様々な環境影響を製品のライフサイクル全体で総合的に評価する必要があります。東芝ライフスタイル株式会社では「つくる」段階での取り組みのひとつとして、グリーン調達を推進しています。

グリーン調達とは、積極的に環境保全を推進している調達取引先様から、環境負荷の小さい製品・部品・材料等を調達することです。有害化学物質等の環境負荷・リスクの低減を考慮した事業活動を進めるためには、サプライチェーン全体にわたる活動が不可欠であり、ビジネスパートナーである調達取引先様のご協力が欠かせません。

このたび、「グリーン調達ガイドライン」をより時代の要請に即した内容に改訂しました。調達取引先の皆様には、持続可能な社会構築に向けて、グリーン調達へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

東芝ライフスタイル株式会社

## 2. 東芝ライフスタイル株式会社環境基本方針

東芝ライフスタイル株式会社は、「人々に素敵なくらしを」を企業理念に、世界中の人々に、より安心で快適なライフスタイルをお届けする製品の開発設計・生産・販売を担う会社として、革新的な技術で人々に素敵なくらしを創造し続け、地域特性に合わせた環境調和型製品・サービスをお届けします。また、「かけがえのない地球環境」を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、豊かな価値の創造と地球との共生を図り、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動によって、持続可能な社会の実現に貢献します。

### ◆環境経営の推進

1. 環境への取り組みを、経営の最重要課題の一つとして位置づけ、経済と調和させた環境活動を推進します。
2. グローバル企業として、事業活動を行う全ての地域で指導・支援を行い、グループ一体となった環境経営を推進します。
3. 環境に関する法令、当社が同意した業界などの指針および自主基準などを遵守します。
4. 事業活動、製品・サービスに関わる環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の防止などに関する環境目的および目標を設定して、環境活動を推進します。
5. 監査の実施や活動のレビューにより、環境経営の継続的な改善、環境経営レベルの向上を図ります。
6. 環境教育や環境活動への積極的な参画を通して、経営者、従業員の環境意識を高め、環境活動に全員で取り組みます。

### ◆環境調和型製品・サービスの提供と事業活動での環境負荷低減

1. 地球資源の有限性を認識し、製品、事業プロセスの両面から有効な利用、活用を促進し、積極的な環境施策を展開します。
2. ライフサイクルを通して環境に配慮した製品・サービスを提供するため、製品の特性に応じて省エネや省資源・リサイクル材活用・特定化学物質の削減などの環境配慮設計に積極的に取り組みます。
3. 地球温暖化の防止、資源の有効活用、化学物質の管理など、設計、調達、製造、流通、販売、廃棄などすべての事業プロセスで環境負荷低減に取り組みます。

### ◆地球内企業として

1. 優れた環境技術や製品の開発と提供、および地域・社会との協調連帯により、環境経営を通じて、社会に貢献します。
2. ステークホルダーとの相互理解の促進のために、積極的な情報開示を行います。

### 3. 本ガイドラインの趣旨

東芝ライフスタイル株式会社では、東芝ライフスタイル株式会社環境基本方針を定め、すべての事業プロセス・すべての製品において、“豊かな価値の創造”と“地球との共生”を一体とした環境配慮に取り組んでいます。その一つの取り組みとして、ライフサイクルを通して環境負荷の低減に寄与する環境調和型製品・サービスの提供を推進しています。このためには、グリーン調達に欠かせません。

本ガイドラインは、グリーン調達に関する東芝ライフスタイル株式会社の基本的な考え方であるグリーン調達基準を示し、合わせて、納入して頂く部品、材料、ユニット、製品、副資材等(以下、納入品)について、調達取引先様にお願いする具体的内容について示しています。

東芝ライフスタイル株式会社は、本ガイドラインに記載したグリーン調達基準に基づく調達活動を通して、調達取引先様とともに地球環境保全活動に取り組んでまいります。

### 4. 東芝ライフスタイル株式会社のグリーン調達基準

東芝ライフスタイル株式会社では、グリーン調達とは、積極的に環境保全を推進している調達取引先様から、環境負荷の小さい製品・部品・材料等を調達することと考えています。そのために、以下のような東芝ライフスタイル株式会社共有のグリーン調達基準を定め、東芝ライフスタイル株式会社のグリーン調達を推進しています。

#### 4.1. 環境管理システム(EMS)の構築

東芝ライフスタイル株式会社では、環境経営の推進の取り組みの一環として、環境管理システムを運用・構築し、ISO14001の認証取得を進めています。また、調達にあたっては、EMS等の構築をはじめとする環境活動への積極的な取り組みを実施されている調達取引先様を優先します。

#### 4.2. 調達品の含有化学物質の管理

調達品の含有化学物質の管理は、JAMP(\*1)における合意事項を重視し、JAMPが発行する「製品含有化学物質管理ガイドライン」に即した管理を実施します。

\*1:JAMP(Joint Article Management Promotion-consortium)は、アーティクルマネジメント推進協議会の略称であり、サプライチェーンにおける製品含有化学物質情報の円滑な開示・伝達のための仕組み作りを推進する非営利団体で、2006年9月に発足しました。活動の詳細は次のURLをご参照ください。

JAMP URL : <http://www.jamp-info.com/>

#### 4. 3. 東芝ライフスタイル株式会社環境関連物質リスト

東芝ライフスタイル株式会社では、「東芝ライフスタイル株式会社環境関連物質リスト」を定め、以下の通り、「ランクA:禁止物質(群)」と「ランクB:管理物質(群)」の2つのカテゴリーに分けて、調達品の含有化学物質を管理します。

区分	判断基準	該当物質(群)
ランク A (禁止物質(群))	東芝ライフスタイル株式会社において、調達品(包装材含む)への含有を禁止する物質(群)。国内外の法規制で製品(包装材含む)への使用が禁止または制限されている物質(群)	別表 1
ランク B (管理物質(群))	使用実態を把握し、削減・代替化等の環境負荷低減に努める物質(群)、またはクローズドシステムで回収・無害化を図り環境への影響を抑制する物質(群)	別表 3

#### 5. 調達取引先様へのお願い事項

東芝ライフスタイル株式会社では、グリーン調達を推進するために、ビジネスパートナーである調達取引先様に「調達取引先様での環境保全の推進」、「環境負荷の小さい製品・部品・材料等のご供給」、「調達品の環境品質確保のための契約の締結」ならびに「各種調査へのご協力」をお願いしています。調達取引先様には、これらのお願い事項や調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、宜しくお願いします。

##### 5. 1 調達取引先様での環境保全の推進

調達取引先様に積極的な環境保全への取り組み(環境方針策定・システム整備・教育実施・生物多様性への配慮等)をお願いします。

また、調達品等を輸送する際に、低燃費・低公害車による納入や納入品に応じた適切な自動車を使用するなど、調達に伴い発生する環境負荷についても、可能な限り低減を図るようお願いいたします。

##### 5. 2 環境負荷の小さい製品・部品・材料等のご供給

調達取引先様の納入品については、製品含有化学物質の管理として、以下の徹底をお願いします。

- (1)製品含有化学物質管理体制の構築
- (2)有害化学物質の削減等、環境負荷の小さい部品・材料等の調達(グリーン調達)の実施
- (3)環境関連物質使用状況調査へのご回答

##### 5. 3 調達品の環境品質確保のための契約の締結

調達品の環境品質確保のため、調達取引の際に「品質保証協定書」の締結をお願いしています。また、必要に応じて「特定有害物質の使用制限に関する合意書」等の提出をお願いする場合があります。

## 5.4 各種調査へのご協力

### 5.4.1 調達取引先様の環境保全活動の調査

環境保全活動に積極的に取り組んでいる調達取引先様とのパートナーシップを強化するため、調達取引先様の環境保全に対する活動状況を調査します。お願いする調査は、主に以下の項目です。

<調査項目>

- (1) ISO14001外部認証取得状況
- (2) グリーン調達活動実施状況
- (3) 環境保全活動状況
  - ・環境方針について
  - ・組織・計画について
  - ・事業の環境側面・システムについて
  - ・情報公開・教育について
- (4) その他

### 5.4.2 調達取引先様の化学物質管理体制に関する調査

製品含有化学物質の管理体制を構築・維持いただくため、調達取引先様の化学物質管理体制を調査します。

### 5.4.3 調達品の含有化学物質(群)に関する調査

新規調達品の設定および既存調達品の代替要否等の判断にあたり、化学物質(群)の含有状況を調査します。お願いする調査は、主に以下の項目です。

<調査項目>

- (1) 「環境関連物質使用／不使用宣言書」による禁止物質の不含有確認
- (2) 分析評価結果の調査
- (3) その他、上記お願い事項の確実化のために必要な調査

また、納入品の種類や必要性に応じて、個別にお願いする調査内容は主に以下の項目です。

- (4) 欧州REACH規則(化学物質規則の一つ)の認可対象候補となる高懸念物質(SVHC: \*2)の含有有無および含有量調査

\*2: 高懸念物質(SVHC: Substance of very high concern)とは、欧州REACH規則第57条の基準に該当し、かつ第59条の手続きにより、認可対象候補物質として選定された物質です。

添付資料 東芝ライフスタイル株式会社環境関連物質リスト

別表1 ランクA：禁止物質（群）

番号	物質（群）名	TLSC への納入品 において禁止す る時期	TLSC への納入品において 禁止する含有濃度の閾値
A01	アスベスト類	既に禁止	意図的添加の禁止
A02	一部のアゾ染料・アゾ顔料（特定アミンを形成 するものに限る）	既に禁止	意図的添加の禁止
A03	カドミウム及びその化合物	既に禁止	意図的添加の禁止かつ 100 ppm（*1、*2）
A04	六価クロム化合物	既に禁止	意図的添加の禁止かつ 1000 ppm（*1、*2）
A05	鉛及びその化合物	既に禁止	意図的添加の禁止かつ 1000 ppm（*1、*2、* 7）
A06	水銀及びその化合物	既に禁止	意図的添加の禁止かつ 1000 ppm（*1、*2、* 7）
A07	オゾン層破壊物質（例：CFC類、HCFC類、 HBCFC類、四塩化炭素等）	既に禁止	意図的添加の禁止
A08	ポリ臭化ビフェニル類（略称：PBB類）	既に禁止	意図的添加の禁止かつ 1000 ppm（*1）
A09	ポリ臭化ジフェニルエーテル類（略称：PBDE 類）	既に禁止	意図的添加の禁止かつ 1000 ppm（*1）
A10	ポリ塩化ビフェニル類（略称：PCB類）	既に禁止	意図的添加の禁止
A11	ポリ塩化ナフタレン（塩素数が3以上のもの に限る）	既に禁止	意図的添加の禁止
A12	放射性物質	既に禁止	意図的添加の禁止
A13	一部（炭素鎖長10～13）の短鎖型塩化パラ フィン	既に禁止	意図的添加の禁止
A14	トリブチルスズ（略称：TBT）、トリフェニル スズ（略称：TPT）	既に禁止	意図的添加の禁止
A15	ビス（トリブチルスズ）=オキシド（略称：T BTO）	既に禁止	意図的添加の禁止
A16	4-アミノジフェニル及びその塩	既に禁止	意図的添加の禁止

番号	物質（群）名	TLSC への納入品 において禁止す る時期	TLSC への納入品において 禁止する含有濃度の閾値
A 1 7	1, 2, 3, 4, 10, 10-ヘキサクロロ- 1, 4, 4 a, 5, 8, 8 a-ヘキサヒドロ- エキソ-1, 4-エンド-5, 8-ジメタノナ フタレン（別名：アルドリン）	既に禁止	意図的添加の禁止
A 1 8	1, 2, 3, 4, 10, 10-ヘキサクロロ- 6, 7-エポキシ-1, 4, 4 a, 5, 6, 7, 8, 8 a-オクタヒドロ-エンド-1, 4-エ ンド-5, 8-ジメタノナフタレン（別名： エンドリン）	既に禁止	意図的添加の禁止
A 1 9	黄りん（例：マッチの火薬に含有している場合 がある）	既に禁止	意図的添加の禁止
A 2 0	1, 2, 4, 5, 6, 7, 8, 8-オクタクロ ロ-2, 3, 3 a, 4, 7, 7 a-ヘキサヒド ロ-4, 7-メタノ-1H-インデン、1, 4, 5, 6, 7, 8, 8-ヘプタクロロ-3 a, 4, 7, 7 a-テトラヒドロ-4, 7-メタノ-1 H-インデン及びこれらの類縁化合物の混合物 （別名：クロルデン又はヘプタクロル）	既に禁止	意図的添加の禁止
A 2 1	N, N'-ジトリル-パラ-フェニレンジアミ ン、N-トリル-N'-キシリル-パラ-フェ ニレンジアミン又はN, N'-ジキシリル-パ ラ-フェニレンジアミン	既に禁止	意図的添加の禁止
A 2 2	ダイオキシン類	既に禁止	意図的添加の禁止
A 2 3	1, 1, 1-トリクロロ-2, 2-ビス（4- クロロフェニル）エタン（別名：DDT）	既に禁止	意図的添加の禁止
A 2 4	1, 2, 3, 4, 10, 10-ヘキサクロロ- 6, 7-エポキシ-1, 4, 4 a, 5, 6, 7, 8, 8 a-オクタヒドロ-エキソ-1, 4-エ ンド-5, 8-ジメタノナフタレン（別名：デ ィルドリン）	既に禁止	意図的添加の禁止
A 2 5	ポリクロロ-2, 2-ジメチル-3-メチリデ ンビシクロ [2. 2. 1] ヘプタン（別名：ト キサフェン）	既に禁止	意図的添加の禁止

番号	物質（群）名	TLSC への納入品 において禁止す る時期	TLSC への納入品において 禁止する含有濃度の閾値
A 2 6	2, 4, 6-トリターシャリーブチルフェノール	既に禁止	意図的添加の禁止
A 2 7	$\beta$ -ナフチルアミン及びその塩	既に禁止	意図的添加の禁止
A 2 8	4-ニトロジフェニル及びその塩	既に禁止	意図的添加の禁止
A 2 9	ビス（クロロメチル）エーテル	既に禁止	意図的添加の禁止
A 3 0	ヘキサクロロベンゼン	既に禁止	意図的添加の禁止
A 3 1	ベンジジン及びその塩	既に禁止	意図的添加の禁止
A 3 2	ベンゼン	既に禁止	意図的添加の禁止
A 3 3	2-(2H-1, 2, 3-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4, 6-ジ-tert-ブチルフェノール	既に禁止	意図的添加の禁止
A 3 4	ドデカクロロペンタシクロ[5.3.0.0(2,6).0(3,9).0(4,8)]デカン(別名:マイレックス)	既に禁止	意図的添加の禁止
A 3 5	2, 2, 2-トリクロロ-1, 1-ビス(4-クロロフェニル)エタノール(別名:ケルセン又はジコホル)	既に禁止	意図的添加の禁止
A 3 6	ヘキサクロロブター-1, 3-ジエン(別名:六塩化ブタジエン)	既に禁止	意図的添加の禁止
A 3 7	ペルフルオロ(オクタン-1-スルホン酸)(別名:PFOS)又はその塩	既に禁止	意図的添加の禁止
A 3 8	ペルフルオロ(オクタン-1-スルホニル)=フルオリド(別名:PFOSF)	既に禁止	意図的添加の禁止
A 3 9	ポリ塩化ターフェニル(略称:PCT類)	既に禁止	意図的添加の禁止
A 4 0	三置換有機スズ化合物(A 1 4, A 1 5を除く)	既に禁止	意図的添加の禁止かつ 1000 ppm(*5)
A 4 1	フマル酸ジメチル(略称:DMF)	既に禁止	意図的添加の禁止
A 4 2	ペンタクロロベンゼン	既に禁止	意図的添加の禁止
A 4 3	r-1, c-2, t-3, c-4, t-5, t-6-ヘキサクロロシクロヘキサン(別名: $\alpha$ -ヘキサクロロシクロヘキサン)	既に禁止	意図的添加の禁止

番号	物質（群）名	TLSC への納入品 において禁止す る時期	TLSC への納入品において 禁止する含有濃度の閾値
A 4 4	r-1, t-2, c-3, t-4, c-5, t-6-ヘキサクロロシクロヘキサン（別名：β-ヘキサクロロシクロヘキサン）	既に禁止	意図的添加の禁止
A 4 5	r-1, c-2, t-3, c-4, c-5, t-6-ヘキサクロロシクロヘキサン（別名：γ-ヘキサクロロシクロヘキサン又はリンデン）	既に禁止	意図的添加の禁止
A 4 6	デカクロロペンタシクロ [5. 3. 0. 0 <sup>2, 6</sup> . 0 <sup>3, 9</sup> . 0 <sup>4, 8</sup> ] デカン-5-オン（別名：クロルデコン）	既に禁止	意図的添加の禁止
A 4 7	ジオクチルスズ化合物（略称：DOT）	既に禁止	意図的添加の禁止かつ 1000 ppm（* 5、* 6）
A 4 8	ジブチルスズ化合物（略称：DBT）	既に禁止	意図的添加の禁止かつ 1000 ppm（* 5、* 6）
A 4 9	6, 7, 8, 9, 10, 10-ヘキサクロロ-1, 5, 5a, 6, 9, 9a-ヘキサヒドロ-6, 9-メタノ-2, 4, 3-ベンゾジオキサチエピン=3-オキシド（別名：エンドスルファン又はベンゾエピン）	既に禁止	意図的添加の禁止
A 5 0	ヘキサブROMシクロドデカン（略称：HBCD）	既に禁止	意図的添加の禁止
A 5 1	一部の多環芳香族炭化水素類（PAH）	既に禁止	人体に触れる部分（* 8） かつ 1 ppm（* 6）
A 5 2	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)（略称：DEHP）	既に禁止（* 3）	意図的添加の禁止 かつ 1000 ppm（* 1）
A 5 3	フタル酸ジブチル（略称：DBP）	既に禁止（* 3）	意図的添加の禁止 かつ 1000 ppm（* 1）
A 5 4	フタル酸ブチルベンジル（略称：BBP）	既に禁止（* 3）	意図的添加の禁止 かつ 1000 ppm（* 1）
A 5 5	フタル酸ジイソブチル（略称：DIBP）	既に禁止（* 3）	意図的添加の禁止 かつ 1000 ppm（* 1）
A 5 6	赤りん（樹脂中の難燃剤用途）	既に禁止（* 4）	意図的添加の禁止

「意図的添加」とは、特定の特性、外観、または品質をもたらすために納入品の形成時に化学物質を故意に使用することです。

(※1) 禁止する含有濃度の閾値は、意図的添加がなく、かつ不純物としての各物質の含有率という意味です。算出する場合の分母は各均質材料とします。ただし、欧州RoHS指令の適用除外が認められている使用可能用途(将来的に認められる使用可能用途を含む)に限り、含有禁止の除外とします。ただし電池に関しては、欧州RoHS指令の対象とはならず、欧州電池指令が優先されるため、(※7)に記載がある物質については、下記(※7)の含有率を優先します。

(※2) 包装材に関する要求： 東芝ライフスタイル株式会社に納入する製品の出荷する際に使用する包装材、及び調達取引先様より納入される部品、材料、ユニット、製品の包装材(集合包装を含め納入されるすべての包装材)につき、別表1に示した物質に加えて、別表2に示す物質の含有のないこと。最大許容濃度が定められているものは、それを超える含有を禁止します。最大許容濃度が定められていないものは、意図した含有の禁止とします。(ただし、顧客要求のある場合は除く。)

(※3) A52～A55 の規制対象物質に関しては、それらの物質を含有した部品・材料を使用した最終製品で、その仕向地にこれらの物質に対する含有規制がないこと、かつ、2019/7/21 までに代替化の計画が明確にある場合には、この限りではありません。

(※4) 赤リン含有難燃剤に関しては、それらの物質を含有した部品・材料を使用した最終製品で、代替化の計画が明確にあり、安全性のデータがある場合には、この限りではありません。

**別表2 包装材への含有を禁止する物質**

別表1 参照No.	物質名	規制対象	最大許容濃度(※1)(※2)
A03-06	鉛、カドミウム、水銀、六価クロム及びその化合物	包装材に含まれる鉛、カドミウム、水銀、六価クロムとその化合物の総量が最大許容濃度を超える含有	0.01wt% (100ppm)
B07	ポリ塩化ビニル (PVC)	包装材に含まれるポリ塩化ビニル (PVC)	- (意図した含有禁止)

(※5) 禁止する含有濃度の閾値は、意図的添加がなく、かつ不純物としての各物質の含有率という意味です。算出する場合の分子は金属スズ(Sn)としての換算値、分母は各成型品あるいはその部品単位(DBTのみ混合物も含む)とします。

(※6) 欧州REACH規則付属書XVII記載の用途と物質群を対象とします。ただし、適用除外と期限が定められている使用可能用途に限り、含有禁止の除外とします。

(※7)【販売が禁止される場合】

A06の水銀及びその化合物は 0.0005wt%(5ppm)超。2wt%(20000ppm)以下のボタン電池は、個別に法令を確認し対応します。

携帯型のみA03のカドミウム及びその化合物は 0.002wt%(20ppm)超

【表示が必要な電池】

A05の鉛及びその化合物は 0.004wt%(40ppm)

A06の水銀及びその化合物は 0.0005wt%(5ppm)(上記販売が禁止される電池以外のボタン電池)を超えて含有する場合、個別に法令を確認し表示を実施します。

(\*8)「人体に触れる部分」の適応範囲は通常または理に適って予見可能な使用条件の下で、ヒトの皮膚または口腔内に直接ならびに長時間または短時間で繰り返し接触するそのゴムまたはプラスチックの構成部品である。納入時の環境関連物質使用／不使用宣言書において、閾値を超えて含有する場合には、その部品での使用部位もしくは用途を記載してください。

別表3 ランクB：管理物質（群）

番号	物質（群）名
B01	アンチモン及びその化合物
B02	ヒ素及びその化合物
B03	ベリリウム及びその化合物
B04	臭素系難燃剤（PBB類（A08）及びPBDE類（A09）を除く）（*9）
B05	ニッケル及びその化合物（人体に触れる部分のみ）
B06	フタル酸エステル類（DEHP（A52）、DBP（A53）、BBP（A54）、DIBP（A55）のフタル酸エステル類を除く）（*9）
B07	ポリ塩化ビニル及びその化合物（略称：PVC）（*9）
B08	セレン及びその化合物
B09	パーフルオロカーボン（略称：PFC類）
B10	ハイドロフルオロカーボン（略称：HFC類）
B11	六フッ化硫黄
B12	欧州REACH規則のSVHC（認可対象候補物質）（*10）

(\*9)これらの物質に関しては、1000ppm を超える場合には管理物質として、使用実態を把握し、報告することとします。

(\*10)欧州REACH規則第59条の手続きにより、選定された認可対象候補物質。分母は納入品の総質量あるいは部品・材料ごととします。

## 改訂記録表

制定：2011年9月1日

版数	制改訂年月日	改訂理由及び内容
1	2011.9.1	新規発行
2	2015.4.1	環境関連物質リストの見直し
3	2017.1.1	組織変更に伴う見直し

## 東芝ライフスタイル株式会社

〒210-8543 神奈川県川崎市川崎区駅前本町2-5-1

〒489-8610 愛知県瀬戸市穴田町9-9-1 番地

調達部 調達企画担当 0561-86-8927

技術品質企画部 環境管理担当 0561-86-8946